千葉市未来の科学者育成プログラムジュニア
糞から知ろう！動物の消化　オンライン

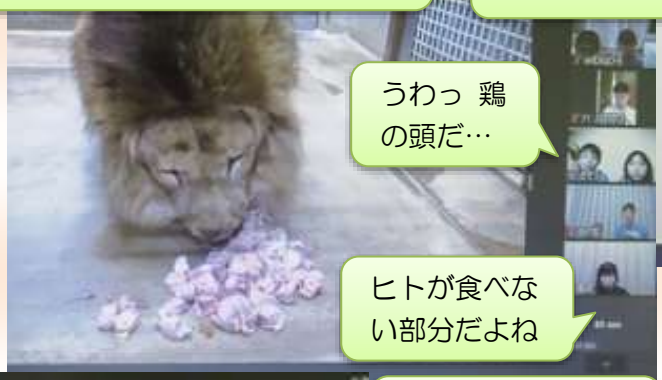
日時　令和３年９月２６日（日）１０：３０～１２：００
形式　オンライン　　千葉市動物公園より発信
講師　千葉市動物公園　鈴木克典先生　Zoo アドバイザー中山侑先生
受講対象学年　小学校５年生および６年生（小３～高校生まで呼びかけ）
参加した受講生　３７名（小３から高校生含む）

※感染症拡大防止のためオンラインに変更し、小３～高校生まで拡大して募集しました。

糞やエサの解説

最初に鈴木先生から、エサ、水の飲み方の違いなどを教わります。腸の形によって糞の形状が変わることに受講生は驚いていました。

エサが違えば糞も変わる。さらに腸の形でも変わってくるよ



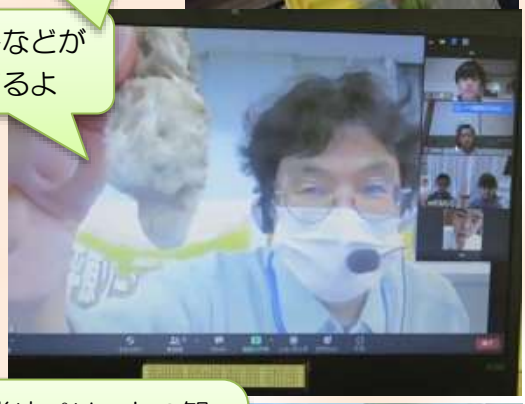
うわっ 鶏の頭だ…

ヒトが食べない部分だよね

鳥の消化のしくみ　軽量重視！

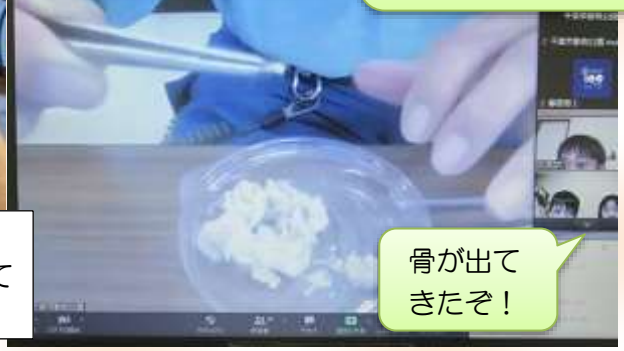
フクロウが吐き出した「ペレット」

鳥と犬の水の飲み方の違いを動画で見てみよう！何か気づいたかな？



エサの毛などが固まってるよ

これは消化できないから吐き出したネズミの骨だね



骨が出てきたぞ！

糞やペリットの観察は健康状態の把握にも大切

フクロウのペリットを解剖します。カメラの前でリアルタイムに出てくるものに受講生もビックリです。

飼料庫からの中継見学

飼料庫から中継します。野菜を切っている様子や冷凍庫の様子などを紹介しました。オンライン講座ならではの中継見学です。チャットで質問もたくさん出ました。

乾燥飼料庫には草以外にも、ドッグフードのようなものもありました。栄養バランスをとっています。

◆参加した児童の感想

- 次回、動物園へ行った際には、動物の食べ物や糞に関する情報に注目しながら、観察してみようと思いました。動物園では、鶏頭や漬物屋さんでの余りの野菜等、捨ててしまうような物が活躍していることを知りました。
- 前半の糞の話では、動物によって形や色が違う理由が分かり、それぞれの仕組みがおもしろいと感じました。糞を細かく観察することは普段ないので、新鮮な感じがしました。草食動物と肉食動物、鳥類で消化のしかたが変わってくるので糞が違うと分かりました。
- 飼料庫についてでは、普段見られない場所を知れて楽しかったです。餌の工夫を知ることができたり、保管方法を知れたり、あまり考えたことがなかったのでとてもおもしろいと感じました。
- 今回のオンライン講座は、「まるで体験型のようだった！」と思います。始まってからすぐにひきこまれて、終わるまでの時間が、あっと言う間に感じられました。特に動物たちの食事と消化についての話は、とても興味深かったです。
- 消化できないものを口からペレットとして出していることを知った。動物を違う目線（反すう、足の指の本数など）から見てみようと思った。鳥の糞は出てくるところが卵と一緒なことに驚いた。軽くするために進化したのかな？と思った。

◆参加した保護者の感想

- 先生方のお話が、ゆっくりとはっきりしていたので、とても聞き取りやすかったです。チャットからの質問を取り上げてくれたり、みんなの反応も同時に見えていたので、とても面白かったです。
- 外出や体験の機会が減っている中、動物公園のバックヤードや動物たちのエサについて教えていただけて楽しめました。育成プログラムの内容は毎回興味深く、参加しては家族での話題になっています。
- 息子にこの講座の話をしたときに、まずタイトルでぐっと心を掴まれたようでした。大好きな動物の事を知る事が出来て喜んでいました。中継形式での、食料庫のツアーは、先生のガイドが聞きやすくてとてもよかったです。